

学校
法人 内丸学園
盛岡幼稚園

園報

第 249 号
(6月)
2019

幼稚園教育・保育の資質の向上

盛岡幼稚園 理事長 坂本 洋

新元号・令和元年を迎えました。命名選定は、和やかで良き時代が続きますようにとの願いを込め、万葉集の梅花歌集序文からと説明されており、この令和をビューティフル、ハーモニーと英訳するようにと外務省。本年5月はこの年号話題で盛り上がりました。

さて、本年の幼児期の教育・保育に携わる関係者は、これまた画期的な節目を迎えることになりました。10月からは念願の保護者負担の保育料を無償化し、国の責任で予算化する法案が国会で成立し実施されることになりました。

世界の先進国は以前から幼児期における教育は国家プロジェクト

として行い無償化が進んでおります。わが国は遅ればせながらようやく追いつきました。今後は制度を充実させ（予算を十分にとり）内容、資質を向上させることが使命です。

この世に生まれ育つ子どもは、どの子どもも多様な発達可能性を秘めております。その可能性を引き出し、育成開花させるのが親の願いであり、子どもへのかかわり方の情熱の源だと考えます。どんな子に育って欲しいか。育てたいか。子育ての第一義的責任は、家庭保護者であるとされるゆえんです。

とはいえ、幼児期の育ちは親子だけのかかわりでは十分でなく、同年齢の集団の中で個と他者との

かかわり体験をすることが必須。人とかかわる力、自己中心性からの脱皮、社会自立に必要な生活リズムの習得や知識や技能を育む場が必要であり、その育ちの専門性を担う幼稚園は、整えられた環境を通し、子ども達の主体的な遊びの中からの学びとして深められることがねらいです。

幼児は、ともかく自己発揮、自己中心性の活動が主流です。それを受容しつつ、保育者がしっかりと見守り心配りする集団活動の中で次第に自己抑制力を身につけます。アクセルとブレーキ操作の体験です。その中で特に気をつけなければならぬことは、自己肯定感の育ちです。自分ほみんなから好かれ、家族から必要とされている肯定感情の育ちです。

その土台は、親子や教師とのアタッチメントの醸成、信頼感のきずなの育ちが重視されます。愛着心と言いますが、乳幼児期の心の育ちの中で、母子を中心として身近な大人とのもつとも基本的な深い「つながり」と指摘。甘えられ、心身共にくっついていての安全・安心感。日に何度も繰り返される愛着行動をいかに確実に安定して

経験できるかが、生涯にわたる心の健康な発達の鍵と言われ、アタッチメントと心の発達の重要性に施設の運営を預かる指導者として改めて重要視します。

幼稚園での楽しい仲間との集団生活を通して、粘り強くやり遂げる力や我慢する力、アクセルとブレーキ操作の体験を積み、子どもの自発的、主体的遊びが真の学びに結びつく保育者の献身的かかわりが、幼稚園でお預かりする幼児の教育・保育の質の向上に寄与することを確信し、今後とも保護者の皆様方と協働して、次代を担う子ども達の生涯発達の基礎・土台作りのため努力してまいりたいと思えます。



「みんなで“サラサラ砂”作り♪」

今年度の運営姿勢

園長 坂本 信行

今年度の運営方針については、ふたば会総会で説明しましたが、今、世界的な潮流として幼児教育の重要性が再認識されています。我が国でも、昨年度から幼保連携型認定こども園の教育・保育要領が改訂施行になり、今年の十月からは、満三歳以上児の幼児教育保育の無償化が予定されています。

① 幼児教育で求められている事

これからは変化の激しい社会と言われ、それに対応するために「生きる力」の育成をめざした「主体的な学び」の推進が叫ばれています。そして、幼児期は「遊びが学び」として、遊びが一層重視されています。

② 当園の取り組み

園訓「常に喜ぶべし」を教育・保育の根幹に据え、遊びからの学びを重視し、その活動を通して、知、徳、体の育成に努めます。そして、幼児期でするので人間教育の

基礎を重視します。従いまして、図で示した通り、「体」や「食」の底辺を土台に、感謝や思いやり等の「徳」を大事にし、「知」としては一人ひとりの興味や関心や意欲を尊重し、その子なりの気つきや発見や考えを大切に育てていきます。そして、底辺の土台が大きくなれば安定し、その上の徳や知も大きくなります。

子ども達に対しては、具体的に、「早寝早起き朝ごはん」を、人との関わりとして「あいさつやありがとう」を、興味関心意欲として「博士」を呼び掛けています。

また、今年度は、次の③から⑥の四つについて、特別チームを組織して課題に対応していきます。

③ 園内研修の推進

新制度の大きなねらいは二つあって、一つは待機児童の解消を目指した「量の拡大」です。もう一つは、教育保育環境の改善を図るための「質の向上」です。当園

では、質の向上を図るために職員研修の推進を図っています。特に園内研修では、今年度の研究テーマを「子どもを理解し、遊びの質を高める援助」とし、実践を通して職員間で学び合うことにしています。

④ 早寝早起きの推奨

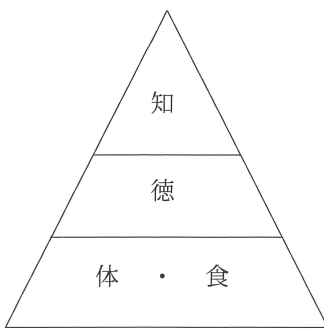
近年子ども達の生活リズムの崩れから子ども達の心身の成長に悪影響を与えていると言われています。そこで当園では、今年度子ども達の睡眠時間について実態を調査してみようと話し合っています。

⑤ ICT化の推進

今年四月から職員の業務負担の軽減化を図るためにシステムを導入しました。現在は、子ども達の登降園についての活用ですが、そのシステムを他に有効活用できないか職員間で検討しています。

⑥ 無償化に対応して

今年の十月から満三歳以上児の教育・保育が無償化になる予定ですが、給食費の食材費の経費は保護者負担となり、有料になります。どれくらいの金額を徴収するか



知育	学びに対する意欲・関心 知識・理解 等	博士
徳育	感謝・自制心・規範意識 思いやり 等	あいさつ ありがとう
体育	体力・運動能力 基本的な生活習慣 等	早寝早起き
食育	健康に必要な食事 マナー・感謝 等	朝ごはん

については、各園にまかされていますが、当園では二学期初めに保護者説明会を開催して説明しようという計画です。
以上、今年度も保護者や関係機関のご理解とご支援をいただきながら推進していく所存です。

子どもの遊び・生活から

やってみよう！

Aクラス担任 竹岡 真美



「こうやるんだよ」

ある日の外遊びで、滑り棒に初めて挑戦する子がいました。やる気はあるものの、初めてはやはり怖いもので、なかなか一步を踏み出せません。私は、「大丈夫、先生押さえてるから！」と声を掛けていたのですが、まだ決心がつかない様子。すると、周りの子どもが「見て！こうやるんだよ」と手本を見せてくれたり、「下向くと怖いんだよ。楽しいことを考え

て！」とアドバイスしてくれたり、「ほら、やってみて！」と背中を押してくれたら・・・それぞれのやり方で励ましてくれました。その後、滑り棒初挑戦は無事に成功！勇気を出して新しいことに挑戦しようとする姿、そして、その友達を見て優しく声を掛けてくれる姿に、とても嬉しくなった場面でした。これからもAクラスの仲間として互いに支え合いながら、いろいろなことを経験し、みんなで成長していきたいと思えます。

友達とかかわりながら

Bクラス担任 村松 千尋

4月、新しい友達も加わり35名でスタートしたBクラス。毎日にぎやかで、好きな場所・好きな遊びを見つけてパワフルに遊んでいます。

先日、花の日礼拝で盛岡中央郵便局に花束を届けた子ども達。さっそく翌日から、郵便屋さんごっこが始まりました。赤い色画用紙で作った郵便バッグを肩から下げ、「郵便ですー！」と、先生

や隣のクラスに手紙を届けている小さい配達員さん。一生懸命書いた平仮名や可愛らしいイラストの手紙（差出人不明の手紙もありましたが）に心が温かくなりました。遊びの中では友達のかかわりが深まってきた分、ぶつかる様子もありますが、それも集団で過ごしているからこそその経験。相手の気持ちに気付く・思いやる事が出来るように子ども達の思いを受け止めながら、支えていきたいと思えます。

のびのび遊んで大きくなれ！

C1クラス担任 田口 千聖

真新しいエプロンと、ピカピカのバッチをつけて、「大きくなっただんだ！」と嬉しそうな笑顔が集まった入園式。朝はおうちの方と離れる寂しさで泣き顔の子もいますが、一人ひとりのペースで園生活に慣れ、好きな遊び、好きな場所、好きなお友達を見つけて楽しんでいくところです。

先日の参観日では、みんなで礼拝を守ったり、手遊びを楽しんだり、ペーパー芯でロケットを作ったり遊んだりしました。「家で見せてくれた手遊びは、これだったん

ですわね」と、嬉しい声も。園で覚えたことをお家でも披露しているようです。

何でも初めてのことはドキドキですが、3歳児はたくさんのご機嫌を吸収する時期です。『やってみよう！』『できたー！』という気持ちを大切に、遊びや行事など楽しい経験を積んでいきたいと思えます。子ども達の成長が楽しみです！

「ご家庭と共に」

つほみクラス担任 佐々木 紫

進級七名、新入十一名、計十八名で迎えた四月。環境が変わりどこの子も緊張と不安の連続のつぼみクラスでした。思い切り泣いて不安を表出する子、泣くことすらできない緊張を抱える子、窓の外を指差し家族に思いを馳せる子…。

そんな中で私達が頼りにするのが、お家の方との送迎時の会話や連絡帳です。自分では伝えきれない思いや痛みに気付いてあげられる為の大きなヒントになるのです。

三ヶ月経った今、四月には想像できなかった程のたくさんの笑顔が咲くクラスになっています。最初は知らない大人だった私たちの事を信頼し、安心できる環境の中

でのびのびと自己表現できるよう
になってきた子どもたちの姿に、
大きな喜びを感じています。

自我の芽生えを迎える大切な一
歳児期。たくさんのお話を家庭と
共有し、共に育ちを喜び合いなが
ら支援していききたいと思いま



新任の先生から

① Aクラス・石田 雪乃

② 幼稚園生活最後の一年間となる
Aクラスの子とも達と一緒に、
様々なことに挑戦したり、新たな
発見をしたり、日々学びながら成
長していききたいと思えます。ど
うぞよろしくお願ひします。

① Bクラス・千葉 麻由佳

② 心も体も大きく成長する年中児
さんと、一年間ともに生活できる
ことを嬉しく思っています。子ど
も達と一緒に、たくさん遊びなが
ら頑張ります。よろしくお願ひし
ます。



♪いつしよにたべよ♪

① 担当クラス・名前
② 今年度の抱負

① ふたばクラス・坂本 千夏

② 今年度から、ふたばクラスの担
任として、子ども達の成長に携わ
れることをうれしく思っています。私
自身も、子ども達と一緒に日々成
長していききたいと思えます。よ
ろしくお願ひします。

① つぼみクラス・中村 真子

② 子どもたちの成長に携われるこ
と、とても嬉しく思っています。子ど
もたちにとって幼稚園の生活が楽
しいと感じられるよう共に過ごし
ていきたいです。よろしくお願ひ
します。

ふたば会から

一日一日を大切に

会長 野又 真美 (A 璃真)

年少から盛岡幼稚園にお世話にな
り、ついこの間、入園式があったか
と思つたら、もう年長です。

親である私は毎日のルーティン
をこなすのが精一杯で時間の経過に
対する感覚が鋭敏ではなくなつて
いる中、娘は新しい出来事の連続で様
々な事を経験し、ゆっくりと成長して
います。年少の頃は年長さんに遊ん
でもらったり友だちとの関係も受け
身な感じがしていましたが、今では
自分より年下の子を可愛がり、友だ
ちとの関係についても〇〇ちゃん
何をして遊ぶなど、能動的に行動を
起こせるようになったと感じます。
思い出は写真や動画で残せませんが、
この日常で感じている事は記憶でし
か残りません。だからこそ、普段の
ルーティンをこなす事だけにとらわ
れず、一日一日を大切に子どもと向
き合い、成長を肌で感じていきたい
と思えます。そして私も初めて役員
として会長をさせて頂きます。皆様
のご協力を頂きながら、自分自身も
成長し、この一年、貴重な時間を過
ごせたらと思えます。よろしくお願
ひいたします。

編集後記

入園・進級して3カ月が経ちま
した。居心地の良かった場所から
自分の好きな遊び、やりたい遊び
へと活動を開始した子ども達。
新たななかかわりを求めて、じっく
りと遊びを深めるなど様々な姿が
見られるようになってきました。
今年度始めての取り組みで、月
一回の誕生会の日の給食を幼稚園
部では「ランチパーティ」とい
う形でホールに集まり、皆でにぎや
かに頂くことにしました。縦割り
での交流を大切にしたいとの思
いから、A、B、Cクラスが一グル
プとなり一年を過ごしてみること
にしました。早速、園庭ではいろ
いろなクラスが混ざり合い遊ぶ
姿、捕まえた虫と一緒に観察する
姿が見られ嬉しく思っています。こ
れからも幼稚園が居心地の良い場
所となるよう見守っていきたく
思います。

学校法人 内丸学園
幼保連携型認定こども園
盛岡幼稚園
〒020-0001
盛岡市中央通一六四七
TEL 六二二-二三〇一
理事長 坂本 洋